

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月11日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675700027
法人名	社会福祉法人 智光会
事業所名	グループホー 愛の里
所在地	鹿児島県始良郡湧水町米永2371番地 (電話) 0995-74-1488
自己評価作成日	令和5年2月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

田畑が広がるのどかな農村地帯の一角に、特別養護老人ホームと併設してグループホーム愛の里があり、リビングからは遠く霧島の山々を望む事ができる自然豊かな所です。私達スタッフは、利用者様一人ひとりの生活スタイルに合わせ自分のペースで過ごす事ができ、やりたい事を自信を持って出来るように、さりげなくサポートするように努めています。個別レクや運動の付き添い、趣味活動、季節ごとの壁画作りを一緒にいき、季節を感じて頂けるように努めています。毎月、愛の里便りを発行し、ご家族へは生活の様子や行事、連絡等を行っています。利用者様が直面している問題等については電話や面会時に話をし支援方法等一緒に検討するなど、スタッフとご家族が連携を図りながら支えていけるように努めています。医療保険の認知症デイケアを利用され、外出する楽しみ、地域の方々との交流の機会が持てるように取り組んでいます。食事については利用者様が食べたい物を献立に取り入れられたり、地域の方々に頂いた野菜等での食事作りを行っています。健康面については、日頃の健康管理と毎月主治医の定期受診、協力医療機関は認知症疾患医療センターの指定を受けており、専門医との連携に努めています。また、異常時には早期対応が出来るように隣接する特養の看護師との連携に努めています。ご家族様や利用者様が安心して、楽しい日々を送れるように寄り添っていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は特別養護老人ホームに隣接しており、法人での運営推進会議や身体拘束適正化委員会・職員研修等の合同開催、看護師の支援協力を行い職員間での協力体制が築かれている。また、系列の協力医療機関とは、認知症デイケアの利用をはじめとする医療連携が図られている。
- ・地域との交流はコロナ禍のため地域・小学校行事への参加は自粛しているが、小学生から敬老の日に手紙が届けられたり、近隣からの野菜の差し入れが継続して行われている。利用者が敷地外に出た際の情報提供など、地域で日常的に見守りをしてもらっている。
- ・運営推進会議は書面会議となっているが、事業所からの状況報告だけでなく、委員へのアンケートを対面開催時の意見交換と遜色のないものにする工夫がなされている。
- ・職員は、利用者がコロナ禍の制限の中でも家族との繋がりを継続し、健康管理やおいしい食事の提供を受けて、楽しく安心して過ごしてもらえるようケアに取り組んでいる。法人や事業所として、研修等で職員のレベルアップを図るとともにメンタルケアにも気配りをしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の理念と愛の里の理念を作成。目に付く場所に掲示し、ミーティングでは理念をもとに話し合いケアの統一を図っている。	理念を玄関・事務所に掲示し、主任から出勤時に確認するよう職員に伝えている。申し送り時及びミーティングでも理念を確認し実践につなげている。理念に基づいた年間目標を作成し年度末に振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	隣接する特養、デイ利用者、近隣の小学生との交流はあるが、感染症流行時期は自粛を行っている。	自治会に加入しており、小学校便りや市の広報紙で地域行事は把握しているが、コロナの感染予防のため参加は自粛している。医療機関やデイ利用時の住民との交流や敬老の日に小学生から利用者への手紙を頂く等は継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を通して、事業所の状況や認知症についての話をしたり、福祉体験学習の受け入れを行っているが、今年度はコロナ感染症予防の為、実施できなかった。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では研修会参加、敬老会、食事会、避難訓練を計画し交流の場としている。外部評価の結果は報告し意見を貰っている。今年度はコロナ感染症予防の為、資料配布し意見を頂いた。後日、議事録を配布している。	運営推進会議はコロナの感染予防のため書面会議を実施している。各委員に資料を配布し意見をアンケートで回答してもらっており、後日、アンケートでの意見交換を議事録として配布し、相互理解を深め運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>空室が出た場合は、長寿福祉課や地域包括支援センターへ相談したり、行政からも入所の相談がある。電話や窓口での相談を行っている。</p>	<p>町担当者とは、運営推進会議での意見交換や窓口に出向いて入居受け入れについての相談をする等、かねてから連携を図っている。町実施のオンライン研修には積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関するマニュアルの作成、勉強会を実施しスタッフの共有認識を図っている。日中は施錠せず、自由に外へ出る事が出来る為、見守りに努めている。毎月1回特養と合同で身体拘束廃止委員会を開催している。</p>	<p>身体拘束適正化の指針を作成しており、委員会は毎月法人で実施している。研修会は年1回実施し、身体拘束時の対応等についても職員全体に周知を図っている。日常的に日中の玄関の施錠はせず、地域の見守りも得て利用者の安全に配慮しながら制限のない生活を支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設内で学ぶ機会を持ち理解浸透を図っている。ミーティング等で不適切なケアが行われていないか振り返りをしている。気付いた時には注意している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在該当者なし。研修等に参加し理解を深めていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	新規契約、改定時には文書にて説明を行い同意を頂いている。状態の変化による解約時には、その後の対応も含めて、本人・ご家族が納得出来るように話し合いを行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者へは要望を尋ねたり、ご家族へは、電話や来訪時に要望を聞いており、話しやすい環境作りにも努めている。ご家族からの電話相談もある。出された意見や要望についてはスタッフで話し合い対応を行っている。意見箱も設置している。	本人の意向は日常会話の中で聞きとり、家族には面会時や電話で要望等を聞いて対応している。利用者の状況から車いす使用を検討した際に、できるだけ自分で歩いてほしいとの家族の希望を受けて、歩行器の使用と日常生活での機能訓練に取り組んだ事例がある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者はスタッフの意見に耳を傾け、利用者の処遇についての助言や運営に関してもスタッフの意見を取り入れている。スタッフの様子も気かけられ声掛けを行っている。	管理者や主任は日常業務の中や月1回のミーティング時に職員の意見等を聞いている。ケアに関しては試行した結果で継続の可否を検討しており、備品や設備導入も職員の提案を反映させている。個別相談は主任が随時受け、管理者と相談し対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者はスタッフが悩み等相談しやすい環境を整えている。資格取得に向けての励ましや支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>特養との合同研修会には多数の職員が参加出来るように配慮している。年に1回愛の里担当で研修会開催している。参加できないスタッフには資料を配付している。今年度はコロナ感染症予防の為に各事業所で実施。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会を通じて交流を持ち、電話での情報交換を行っている。今年度は研修会はリモート参加。電話での情報交換を行った。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に施設見学や面談を行い本人の心身の状態の把握や不安な事、求めている事を理解し、安心して入所出来るように努めている。今年度はコロナ感染症予防の為、入所前の施設内見学は見合わせて頂いた。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が求めている事や困っている事をよく聞き理解した上でどのような対応が出来るか話し合い行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人・ご家族の思いや状況を確認した上で必要とするサービスに繋げられるように支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で利用者とスタッフが「ありがとう」とお互いに言える関係にある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話や面会時に日頃の状態を報告し、問題に直面した時にはご家族と一緒に対応方法を考えている。不安定な時には面会や電話対応をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今年度はコロナ感染症予防の為、外出・外泊は見合わせて頂いた。電話の取次ぎや手紙の代読、手紙の投稿行っている。	面会スペースでの面会や電話・手紙等での交流を支援し家族との関係継続を図っている。受診の際に自宅訪問や馴染みの場所へのドライブも個別に実施し、これまでの関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う者同士が居室や廊下で一緒に過ごせる環境作りをしている。家事やレク活動は、利用者同士が声を掛け合いながら円滑な関係が保てるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他事業氏に移られた場合、利用者と一緒に遊びに行ったりしている。入院時のお見舞いや亡くなられた際にはお通夜、葬儀に参列している。退所後も相談を受けられる体制を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の意向や困っている事を聞いたり、言葉や表情などから読み取り、スタッフで話合っている。スタッフだけでは対応出来ない事はご家族と検討している。	日常の会話や利用者の変化に応じて声掛けしたり、夜勤時に利用者から話しかけて来る等の機会に、難聴者には筆談も用いて本人の意向を把握するように努めている。職員間で情報を共有し、家族に本人の希望を伝えることもある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時ご家族にバックグラウンドシートを記入して頂いたり、本人からの聞き取りも行っている。本人やご家族と話すことで情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らしの変化等個別記録に残し、生活のリズムを把握している。情報の共有化を図る為に申し送りノートの活用、ミーティングで話し合い確認している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメント、カンファレンスを開き、利用者の状態についてスタッフで周知し、介護計画の作成を行っている。ご家族や主治医からの情報や助言も踏まえて検討している。モニタリングを行い、状態に応じて介護計画の見直しを行っている。	利用者には会話の中で、家族には面会時や電話で希望等を聞いており、主治医の情報やカンファレンスでの職員の意見を入れて介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、状態変化時や介護認定更新時に計画の見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録、総合チェック表（バイタル・食事・排泄等）を作成・記入、申し送り等にて情報の共有に努めている。月末にはケアプランの評価を行い、プランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・ご家族の要望に応じて外出や外泊、体調不良時の付き添い、宿泊等臨機応変に対応出来る体制である。基本は町外の受診はご家族に協力頂いているが、状況に応じては付き添い支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議では愛の里の現状を報告したり、防火訓練時は消防、地域の消防団の協力がある。学校行事の参加、ボランティア、小・中学生の慰問があるが、今年度はコロナ感染症予防の為、見合わせた。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な受診をしながら、医師との情報交換を行い、状態に応じた支援を行っている。必要に応じてご家族へ報告。ご家族と受診される際は状態報告し、受診後は結果を聞き記録している。	契約時に希望するかかりつけ医を確認している。町内の受診は主任が同行支援し、町外は家族が対応している。緊急時は隣接する特別養護老人ホームの看護師に相談し、かかりつけ医への電話等の対応を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>隣接する特養の看護師にその日の状態を申し送りしている。日中、夜間を問わず急変した場合、特養の看護師に状態報告・相談し助言や指示等対応して貰っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の状態に応じた十分な治療と入院が出来るよう医療機関との情報交換を行っている。入院した際は定期的に医師や看護師との情報交換、ご家族からの状態報告、面会等行い心身のダメージを軽減できるように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>面会時等に本人やご家族の意向は確認し記録に残している。事業所で対応し得る最大のケアについては説明を行っている。</p>	<p>契約時に重度化等の対応について指針で説明している。事業所で対応できることを説明し、入居後に延命治療希望等の意向を確認している。重度化の場合は、主治医から家族への説明に主任が同席し入院先の希望を聞いている。退院後の施設等については状況に応じて支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会や避難訓練を活用し訓練を行っている。夜間時の緊急対応については、マニュアルを作成し周知徹底を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防火訓練は利用者の参加、避難誘導、初期消火、通報訓練を年2回開催している。スプリンクラー設置。地域の消防団の協力体制。非常食、物品の整備。運営推進会議の委員も参加されるが、今年度はコロナ感染症予防の為、見合わせた。</p>	<p>火災避難訓練を、年2回消防署の立ち合いで昼夜想定で実施している。消防団等の地域の協力体制はあるがコロナ禍のため、今年度は声掛けをしていないが、運営推進会議委員には訓練の結果を報告している。近隣に系列医療機関職員の居住があり、協力体制を築いている。非常用の備蓄は、5日分のレトルト食品やインスタント食品等の食料や水・カセットコンロ・毛布・個人持ち出し袋を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや声掛け、対応に配慮しスタッフ間で気付いた時にはお互い注意している。問題が起きた時にはその都度話し合い行っている。	年1回法人の外部講師による接遇研修に参加している。人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねないように、さん付けでの呼びかけや入浴・排泄介助時は羞恥心にも配慮して声掛けしている。申し送り時は利用者に聞こえないように気を付けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	衣服選びや入浴、外出、レク活動の参加等利用者の意思確認行い対応、支援している。表情や行動、反応を把握するように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活に合わせた支援に心掛けている。外出等本人の希望時に出来る限り支援出来るように配慮している。今年度はコロナ感染症予防の為外出は見合わせた。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その日の衣服については一緒に選んだり、紙染め等本人の意向を聞いている。化粧品やクリーム等希望の品物を準備している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	簡単な調理、配膳、下膳は一緒に行っている。現在はコロナ感染症予防の為、スタッフが行っている。嗜好を聞き代替品の用意。利用者の食べたい物を献立に取り入れたり、畑で収穫した野菜や地域の方々に頂いた野菜も利用している。	嗜好調査を実施し、代替品も用意している。菜園や差し入れの野菜を活用して、利用者の希望を取り入れた献立や季節の行事食・誕生日・庭での花見の食事等で、楽しんでもらえるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は残食量で把握。水分量の少ない方には声掛けして水分摂取量の把握。夜間の飲水の準備、好まれる飲み物の提供を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの声掛け、確認し誤嚥防止に努めている。義歯消毒は一人ひとりの義歯の状態を見て消毒している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンや尿量に応じてトイレ誘導の時間、リハビリパンツ、パット類を検討している。居室内の尿臭に注意し、こまめに換気したり、消臭剤を使用している。	トイレでの排泄を基本に個々の排泄パターンに応じてトイレ誘導を行っており、パットなどの排泄用品も適切な物を検討している。入居時の布パンツ使用を継続できるよう支援しており、個々に応じたトイレ誘導でパットを外し布パンツのみへ改善できた事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量の把握、乳製品の提供、運動等支援し、便秘については予防しているが、状態に応じては緩下剤を服用して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調や高齢ということも考慮しながら支援行っている。希望があればいつでも入浴できる体制。断られた時は時間を変えたり、翌日に変更している。要望に応じて、同性介助、身体の状態に応じてリフト浴を行っている。	週2回午後を基本に入浴支援を実施しており、希望があればいつでも入浴が可能である。体調や希望でのリフト浴、同性介助やゆず湯など、ゆっくり入浴を楽しめるようにしている。拒否の場合は、時間や日を変えて声掛けしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、家事やレク活動を促したり、散歩、日光浴を取り入れ体内リズムを整えるようにしている。眠れない方は寝たい時間にねれるように一緒に過ごしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬事説明書で内服薬の把握をし変更時は記録、申し送りノートへ記載している。服薬時はスタッフ2名で行い誤薬防止に努めている。定期的に服薬の仕方の指導を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事、出来ない事、得意、不得意な事を理解した上で家事や裁縫等お願いし役割を持たれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節ごとに行事計画を立てている。利用者の状態を見ながら、ドライブや外食、散歩等行っているが、今年度はコロナ感染症予防の為外出は見合わせた。医療保険の認知症デイケアを利用されている。	コロナ禍のため多人数の外出や家族との外出・外泊は自粛しており、当日の天気や希望等で墓参りや医療機関売店での買い物の個別支援をしたり、受診時にドライブをする程度の外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で管理されている方は買い物時支払いをされる。管理の難しい方はご家族の希望により預かっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	要望時や贈り物が届いた際には電話を掛けたり、取次ぎの支援を行っている。年賀状のやり取りや手紙を書かれたら、ポストに投稿している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は自宅から持って来られた物や作品を飾り、その人らしい部屋作りに努めている。廊下の壁にも作品や写真を飾り利用者同士の話題作りに努めている。玄関ロビーや廊下には椅子を設け気の合う人同士が集まってお茶を飲みながら談笑できる空間作りに努めている。	リビングは明るく、加湿器やサーキュレーターが設置されて過ごしやすい室内環境となっている。ソファを廊下にも配置し、日向ぼっこや気の合う利用者が談笑できるスペースとなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下には椅子を設置し、一人で新聞を読まれたり、他者と談笑や音楽を聞いたりと過ごせる空間作りに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの家具、テレビを持って来られている方やご家族、孫の写真、植物、花、絵を飾りその人なりの好みに合わせた居心地の良い環境の中で過ごせるように配慮している。	居室には洗面所やベッド・エアコン・加湿器を設置し、寝具はリースで清潔に保たれている。本人の希望等で、テレビやダンス・イス・チェスト・冷蔵庫を持ち込んだり、花や写真・作品を飾って、本人が居心地よく過ごせる部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ベッドや家具の位置は、本人の要望を聞きながら安全に自立した生活が送れるように配慮している。一人ひとりの出来る事の把握、声掛け、見守りながら持っている能力を活かし自立して暮らせるように支援しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない